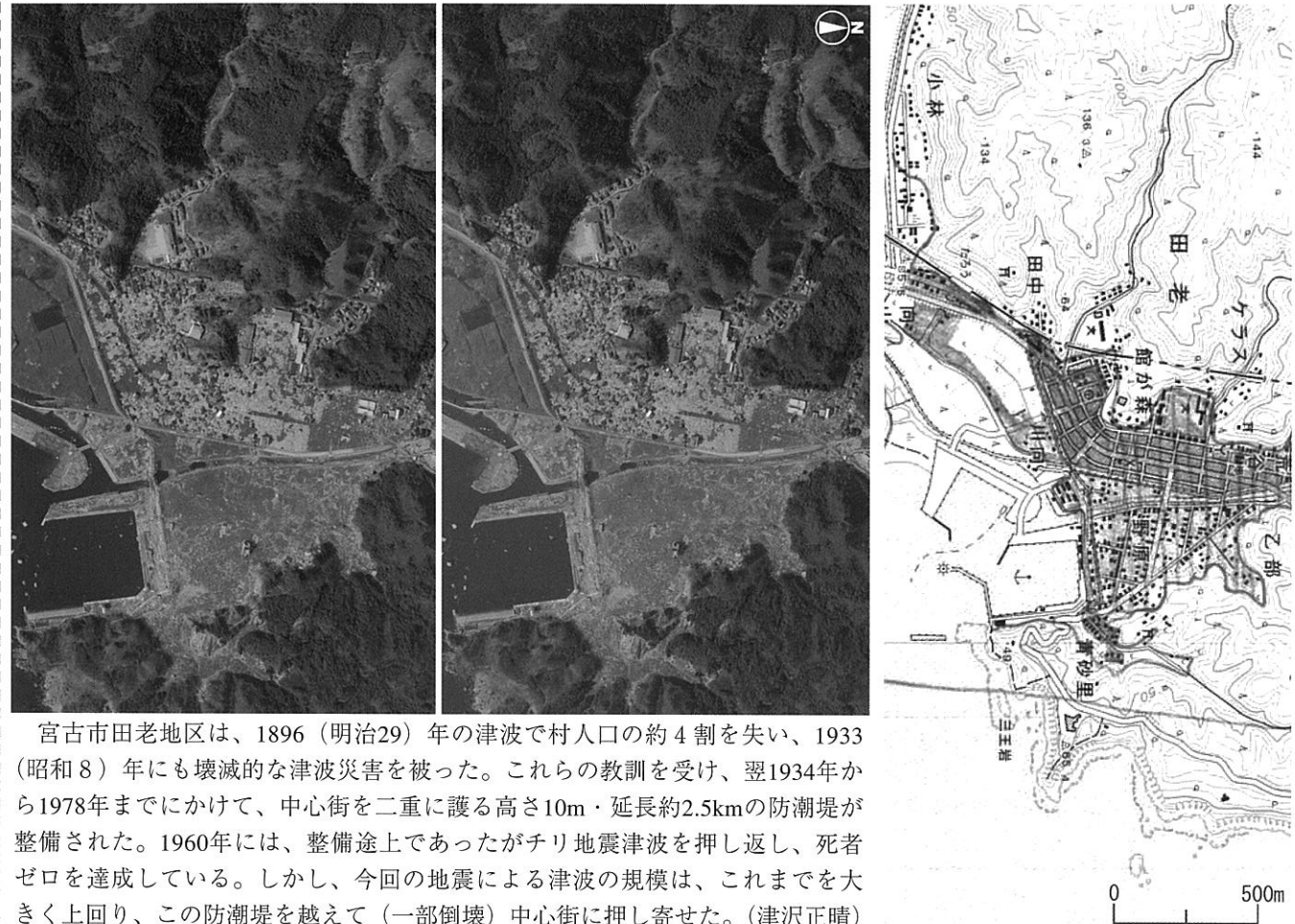


◆表紙の説明

左は田老中心部の実体視。2011年3月12日国土地理院撮影空中写真。右は日本地理学会津波被災マップ作成チームによる津波被災マップ。



宮古市田老地区は、1896（明治29）年の津波で村人口の約4割を失い、1933（昭和8）年にも壊滅的な津波災害を被った。これらの教訓を受け、翌1934年から1978年までにかけて、中心街を二重に護る高さ10m・延長約2.5kmの防潮堤が整備された。1960年には、整備途上であったがチリ地震津波を押し返し、死者ゼロを達成している。しかし、今回の地震による津波の規模は、これまでを大きく上回り、この防潮堤を越えて（一部倒壊）中心街に押し寄せた。（津沢正晴）

新刊地形図案内 平成23年5月1日に国土地理院から以下の地図が刊行されます。

2万5千分1地形図〈柁判、3色〉 (12面)

地図番号	図名	備考
室蘭 11-2	落部	平成22年更新 森町、八雲町
室蘭 11-3	八雲	平成22年更新 八雲町
室蘭 11-4	山越	平成22年更新 八雲町
青森 4-2	田代	平成22年更新 青森市、十和田市、七戸町
青森 4-4	雲平	平成22年更新 青森市、黒石市
弘前 1-3	八甲	平成22年更新 青森市、十和田市、平川市、七戸町
弘前 9-3	酸ヶ湯	平成22年更新 青森市、黒石市、十和田市、平川市
弘前 1-1	岩木山	平成22年更新 弘前市、鱒ヶ沢町、西目屋村
山口 16-2	厚狭	平成22年更新 宇部市、美祢市、山陽小野田市
八代 6-3	日奈久	平成22年更新 八代市
八代 6-4	田浦	平成22年更新 八代市、芦北町、球磨村
八代 7-3	佐敷	平成22年更新 芦北町、球磨村

*上記の図については、オンライン提供「数値地図（地図画像）」も同時に行います。

20万分1地勢図〈柁判、6色〉 (2面)

地図番号	図名	備考
NJ-53-5	富山	平成22年修正 道路、ダム
NI-54-19	千葉	平成22年修正 図郭変更、行政区画、鉄道、道路

お詫びと訂正

本誌463号の表紙を2011年3月としましたが、2011年4月の間違いです。

本誌第462号（2011年3月）掲載の「絵葉書の地図84 留萌港之図」において、同港12m岸壁の供用が平成23年3月開始されるとしましたが、この岸壁は平成16年度より供用されています。

お詫びして訂正します。

地図中心2011-5通巻464号

発行 財団法人日本地図センター
平成23年5月10日発行
〒153-8522東京都目黒区青葉台4-9-6
郵便振替00100-5-177613

電話 03-3485-8125 FAX 03-3465-7689
(企画編集部本誌担当)

メール chushin@jmc.or.jp
URL http://www.jmc.or.jp

定価 480円(本体457円)
年間購読料 4,800円(税込み、送料当センター負担)
印刷所 日本印刷株式会社



北アルプス（飛騨山脈）蝶ヶ岳山頂付近の森林限界から望む穂高連峰 写真に見えている山々は、明神岳（左端）から北穂高岳（右端）にかけての穂高連峰の稜線である。北アルプスの蝶ヶ岳は、梓川の谷を挟んで槍・穂高連峰をよく見渡すことのできる絶好の展望台となっている。槍・穂高連峰には標高3,000mを超える高峰が数多くそびえており、カール（圏谷）、モレーン（堆石）やU字谷（氷食谷）などといった氷河地形も多数分布している。蝶ヶ岳山頂付近からは、そのような日本でも有数の山岳景観を楽しむことができる。2007年5月5日撮影。（青山雅史）

日本地図センター販売取扱店

株式会社 **ダイヤカラー**

写真事業部

〒156-0052
東京都世田谷区経堂5-38-23 TEL.03-3420-3273

筑波支所

〒305-0821
茨城県つくば市春日3丁目1-8 TEL.029-851-6659(代)
財団法人 日本地図センタービル内

空中写真営業品目

カラー及びモノクロ密着写真、引伸写真
複写、モザイク写真・製本、パネル加工
河川台帳・道路台帳・固定資産台帳
デジタル画像処理・出力・スキャニング